

## 『九条の会』の『9条改憲NO』の声明

2017年11月06日

「九条の会事務局」は「総選挙後、改憲の新たな局面に際し「9条改憲NO」の声を草の根から」と題する声明を発表した。転載したい。

憲法と日本の進路に大きな影響を与える総選挙が終わり、自民党は284議席を獲得し、公明党、希望の党、維新の会合わせて改憲勢力が374議席、全議席の8割を超えた一方、安倍改憲に反対する側は、野党分断の攻撃を乗り越え、立憲民主党、共産党、社民党、無所属を合わせて90議席前後を獲得しました。

もちろん、改憲諸党のなかでも公明党が9条改憲には消極的な態度を示し、維新の会が教育無償化に重点を置くなど改憲原案取りまとめまでには紆余曲折はあるでしょう。しかしそれは、9条の「改正」に対する国民の警戒心への対策にほかならず、改憲勢力の本命はあくまで9条改憲です。しかも安倍首相は「スケジュールありきではない」といいながら、多数の議席を背景に、あくまで18年通常国会での改憲発議、秋の国民投票実施に照準を合わせています。

一方、9条に自衛隊を書き込むことについては、選挙後の世論調査でも、設問の仕方に多少の違いはあるにせよ調査媒体によってまったく反対の結果が出ている（「朝日」賛成36%、反対45%、「読売」同49%、39%）ように、安倍9条改憲の危険性が十分に伝わっているとはいえない状況があります。

九条の会も参加している「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」が提起した3000万人署名の取り組みがいつそうその緊急性を増しています。通常国会での9条改憲発議を阻むために、全国の草の根で、全力で3000万人署名に取り組みを強め、改憲勢力が改憲を発議できない状況を作り出そうではありませんか。こうした幅の広い声を結集することで、万一発議が強行された場合にも国民投票でそれを否決する力をつくることができます。

何よりも3000万人署名を軸にきめ細かい対話の運動をすすめましょう。

九条の会が発行したブックレットやポスターを使って学習会を持ちましょう。

すべての地域で、新たに選出された地元の国会議員に対し、9条改憲反対のメッセージを伝え、「9条改憲NO」の態度をとるよう訴えましょう。 2017年10月27日

今回の衆議院選挙では、政治家たちの荒廃ぶりに唖然とした。選挙結果は安倍政権が国会で改憲を決議できる勢力を獲得した。しかし、改憲に関する議論は百出し、多岐に渡っている。「九条の会」に連なる私たちの活動は「9条を守ろう」という一点に集中している。

港南区9条の会は休眠状態であったが、「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」の3000万人署名活動の呼びかけに応え、革新懇と共同して「市民アクション港南」を立ち上げた。上大岡カミオ前と港南台駅前で、署名を呼びかけ、「平和憲法9条守ろう」のリレートークをした。今後も署名活動を続けていく予定である。浜矩子氏の講演会でも署名を集めた。また、憲法発布記念日の11月3日には、「安倍9条改憲NO！全国市民アクション実行委員会」主催の「国会包囲大行動」が行われ、4万人が集まった。私はいつも、メイン演壇が設けられる国会議事堂正面の左側の公園に行っている。朴槿恵政権打倒に力を尽くしたキム・ヨンホさんが日本の憲法は世界史的に意味を持つというスピーチは印象的であった。アジア侵略に対する謝罪を込めたものとして受け止めたという意味であろう。

戦争は勝っても負けても、互いに多大な損失を被るだけで、他国を武力で占領できる時代ではない。市民が声を挙げ、政治を動かし、平和を作ることができる時代である。